



令和4年12月1日発行

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。季節は冬になってきました。しかし、子どもたちは寒さに負けず「今日は外で遊ぶ」とたくさん 身体を動かして遊んでいます。先月は「友だちとの関わりを丁寧に遊ぶ」と言うねらいで一か月過ごしてきました。運動会前までは、4人から5人で遊んでいた子ども達も、最近は同じ遊びをするようになってきました。特にかわり鬼をすることが好きで、10人以上の友だちが集まって遊んでいる姿が見られます。しかし、その中でルールが共有されておらず、「バリアありだよ!」、「バリアは何回までならあり!」とルールのことトラブルになる事があったため、まずは鬼を決める時にルールをどうするか話をしました。しかし、相手の意見は聞かず自分の意見を通す子、何も聞いておらず遊びが始まった際に、ルールを理解していない子がいました。まずは、全員がルールを理解してから行うようにすると少しずつ子ども達も集団で遊ぶ時はどのようにルールを決めるか分かってきたようです。しかし、まだ自分本位の子も多くみられるため、保育者も一緒に入りながらルールを決めたり、意見が言えない子もそれでよいのか確認しながら遊びを進めています。今後も遊びを通して、友だち同士意見がぶつかり葛藤することもあるかもしれませんが、保育者が見守りながら自分の意見を言ったり、相手の意見も聞いてどうするか話し合いの仕方を生活や遊びを通して体験できるようにしていきたいと思います。ご家庭でも話をする中で自分の意見だけでなく、相手の意見も聞けるようにやり取りをしてみてください。

さて、今年もあと一か月となりました。年が明けると卒園の向けての3か月となります。保育園生活でしかできないことを経験し、自信を持って小学校に行けるように過ごしていきたいと思います。お休みの間は、体調を崩さないようにして、よいお年をお迎えください。

●今月のねらい

友だちと言葉のやりとりを丁寧にやる。

●今月の行事

クリスマス会、誕生会

●今月の予定

コーディネーショントレーニング、体育指導、製作、散歩、ごみ拾い

★ふわふわ言葉、ちくちく言葉

先月のおたよりで、悪気なく言葉遣いが悪くなっていることがあるとお知らせしました。そのあとも言葉遣いが悪くなっている子が多く、「ちくちくとふわふわ」という絵本をみんなで読み、言われるとうれしい言葉を「ふわふわ言葉」言われると心がちくちくする「ちくちく言葉」について考えました。読み終わった後、ふわふわ言葉とちくちく言葉を出し合うと、ちくちく言葉がたくさん出てきたため、「ちくちく言葉をふわふわ言葉に変えてみよう」と伝え、それぞれ考えて答えてくれました。
例)「どけ」、「じゃま」→「通りたいから通して」
「おいしくないから食べない」→「一口は食べてみる」
「できない」→「やってみる」等
少しずつ子どもたちの中で「それはちくちく言葉だよ」と言ってしまった子に注意をしている子がいます。子どもたちの生活の中では、テレビやインターネットを見たり聞いたりして言葉遣いをつい真似してしまうこともあると思います。しかし、ふざけて言ったことでも相手にとったらどう思うのかを少しずつ考えられる良いきっかけになればと思っています。ぜひお家でもちくちく言葉とふわふわ言葉について一緒に考えてみてください。



12月生まれのお友だち

6歳おめでとう